

'85 春山.GW山行

報告書



SAC Club
Shinshu Univ.
Alpine



～目次(Mokuji)～

1. ハケ岳	1
2. 南戸谷川本谷	2
3. 富士山	3
4. 南縦走	4
5. 日高縦走	5,6
6. 中縦走	7
7. 尾瀬スキー	8
8. 屏風東稜	9
9. 島ヶ谷クラッシュルンゼ	10
10. 経ヶ岳	11
11. 中止にはた山行一覽表	11

<G.W山行>

1. 入山	12
2. 不帰Ⅲ峰 B尾根, C尾根	13
3. 杓子 A尾根, B尾根, D尾根	14, 15
4. I峰尾根上半, 南峰ルンゼ～Ⅱ峰	16
甲南のⅢL～Ⅱ峰	17
5. 杓子 A尾根, 雪訓	18
6. 不帰I峰尾根上半, Ⅱ峰 C尾根	19
不帰縦走	20
7. 合計巻	

定着 2/18 ~ 2/22

フジタ オ-マエ ミズタニ カトヤ

2/18 ① オ-マエ カトヤ 入山 行者小屋 前ト テントは3

2/19 ② → ③

オ-マエ. カトヤ 夜 フジタ 入山

天気 悪く 午後 フジタ 北麓の 第1岩場 12時 行き 中岳迄 下降

2/20 フジタ オ-マエ カトヤ オ-マエ 午後 下山

① 6:50 T.S 出発

② 8:15 石の麓 車付 ラセルが 30分

③ 8:45 フジタ Top 車付 かが 登り 下り 止まり

④ 11:20 T.S オ-マエ 下山

⑤ 12:40 T.S 出 赤岳 南峰 ヲジト 車付 下り 又 三郎 尾根 登り

⑥ 1:20 くらげ場 30分 行か. ガスと 雪が 降り 止まり ル-ト が見え ない 下り

⑦ 2:00 T.S

夜 水谷 下山 赤岳 毎 泉 湧り 入山 P.M 7:30 まで 30分
二人で 少し 心配した. ミズタニ は Essen と ビール たけ まで
2日 朝 下山

2/21 フジタ カトヤ ミズタニ 下山

① 7:10 T.S 出 ショ-ゴ 決 へ 行く べく 泉 まで 登り ミズタニ と 合流

② 8:15 15m の 大滝 の はずが ほとんどう まり 氷 の 上 の 雪 と 氷

ピッケル と バイル を ぶち つけ 登り 滝 の 上 の 口 まで 登り 降り

③ 10:00 F2 を 登り 下り 所 まで 下り 1p 14分 ほど T.S へ
T.S

④ 11:00 T.S 出 赤岳 南峰 ヲジト まで 登り

⑤ 12:00 車付 左 麓 へ 車付 3p エテ 3p まで 下り

⑥ 2:00 赤岳 山頂 車付 まで 登り 天候 悪化 春 一番 の 風 吹く
目の 前 まで 氷 降り ル-ト 自体 崩れ たり

④ 4:00 下津路をまわい 山頂から下りて 大谷の 山頂から下りて
 下からふきあげた風が 吹いて 山頂から下りて
 くらり場を所まで登り 下り 山頂から下りて 山頂から下りて

④ 4:35 月見山のケルン3しき 死やと見つけ 文三津原まで下山

2/22 フジが 下り 下山

④ 7:40 下5出 赤岳 赤岳 赤岳 赤岳 赤岳
 10:00 美濃平山荘
 10:50 Bus まで 30へ

今年のハ、岳は 天候 悪く 登山したのは 一本だけ 赤岳の下り
 楽しかった 思いもよらなかった。 下り 下り 下り 下り 下り
 下り 下り 下り 下り 下り 下り 下り 下り 下り 下り
 下り 下り 下り 下り 下り 下り 下り 下り 下り 下り
 by KADOYA

南の 平川 本谷
 L+カウ ホエ カカ

3/23

車で 平台へ

- ① 9:26 平台 登
- ② 11:20 赤河原 出合 雪 けのり 少ない
- ③ 1:30 七丈の境を 五丈の境を 目撃が 河原に つもる雪で
 歩むに 境も雪で 歩むに 歩むに 歩むに
- ④ 2:50 赤河原 出合
- ⑤ 3:30 平台

下り 下り 下り 下り 下り 下り 下り 下り 下り 下り

2/24~27 富士山
L. 細川 森

2/24 12:49 松本 → 15:31/39 大月 → 18:25 富士吉田

駅の待合室は閉まってしまうので御注意を。

2/25 〇 6:30 富士吉田 ^{77%} → 7:40 中の茶屋 → 8:45 馬返 →

11:55 佐藤小屋

冬期小屋なし。中かんはいいない。フ、セルビッチリ。^跡

2/26 〇 6:25 T.S. → 9:45 8合目 → 10:30 久須志岳山頂
→ 12:45 T.S.

油氷はほとんどなし。突風はかたじけなく強^速い。15mm~20mm
ぐらいか。ルートは8合目まで吉田大沢ルートで落石、
落氷のため夏道ルートに逃げ、山頂へ。アベンは
よく効いた。

2/27 〇 8:45 T.S. → 10:55 中の茶屋 → 11:30 ヒツギの →
11:40 富士吉田。

参考資料 岳人 329号(11月) 特集、冬富士

2/27 10-00
 10:20. 出発 温泉
 10:55. 一本
 11:50. 一本
 1:00. 一本
 2:30. T.S. 22/6の少し前.

雪が足る
 予定より早く降り
 張子。

2/28. 4:30. 起床. <朝
 7:00. 出発. <朝 小雪
 8:00. 一本.
 9:00. ほろお小屋.
 10:25. 地蔵ヶ岳 雪
 1:10. 白馬峠. 風が強い.
 2:25. 広河原峠 T.S. 雪

みぞれまじりの雪に清
 山で寒かた。

3/1. 4:30. 起床. 雪
 6:55. 出発
 8:00. 早川小屋. 明子<存ってきた.
 9:20.
 10:40. 少し暖かくなり.
 11:40. アサヨ山 晴れ. 風が強い
 1:10. 栗沢山の下りの途中.
 1:40. 仙水山 T.S. 晴れ.

栗沢山から仙水山
 の下りが急. 存のどき
 がえやがた。

3/2. 4:50. 起床. 晴. 風が強い.
 6:25. 出発.
 7:40. 駒津峠. うす<朝.
 8:55. 駒ヶ岳. -8℃.
 10:20. T.S. 2. 収.
 11:20. 沢.
 12:10. 北沢峠. 小雪.
 1:10. 舟川山荘.
 2:10. 三ツ峠. 行方不明. <朝
 3:15. 三ツ峠. 行方不明. <朝

日高山脈中部縦走

沢田(リ-ダ-), 藤田, 3月1日~10日

3月1日 (☉~☉) 松本(7:05) - 新潟 - 青森(23:05)

3月2日 (☉~①) 青森(0:35) - 函館(4:25) - 帯広(11:05) - 中札内
(14:21) Taxi 南札内(14:50)

3月3日 (①~②~③) T.S(6:40) ~ 札内 Hütte (13:00)

林道歩き。スキーをはいて、20~30cmのラッセル。Hütteより先を行こうかとも思ったが、旅の疲れもあり、Hütteに泊った。小屋が気持ちがいい小屋で、3年前に来た時と、何も変わっていない。好天に林道歩きに使った事がもたないと思われる。

3月4日 (①~②~③) Hütte(6:05) - サツト岳 尾根 取付(10:00) ~ C1200m(15:20)

尾根取付までは、数回三渡渉しながら、スキーで行った。荷物は大型アタックに、サド積付をつけて、かろろいで取り、かなり重い。尾根下部は、樹林はまばらで、腰~ヒザのラッセルは厳しく、2人ともバテた。1300m台地の手前で泊った。

3月5日 (☉~吹雪) T.S(7:05) - コイカシ サツト岳(11:40) - ヤオロマツノ側 コル 1560m (12:30)

1300m台地より上部は尾根も細くなり、岩稜もとこどこ出てくる。Bushにも、悩まされる。しかし、ラッセルは、緩急分業になる。稜線に飛び出したとたん、地吹雪で、ヤオロマツノ側に少し歩き、1560mのコルにテントを張った。(但し、ネコノ顔程のスキーしか無い。T.S蓋地ではない) もたもた寒く、テントがバタついて落ちたかな。

3月6日 (☉吹雪 - 10:00頃より①) T.S(7:15) - ヤオロマツノ(9:00) - P1569(11:30) - P1600(13:40)

ヤオロマツノ岳までは、地吹雪の中を歩いた。もたもた風が強く、視界も悪かったが、尾根は、小アタックが少しいただけで、比較的歩き易かった。ヤオロマツノから1569Pまでの下りは、非常に長く下り続けている所と、吹雪が降りかかると、尾根も細く、急で、緊張する所だった。ヤオロマツノ - P1569 - P1600間は、タケカンバのBush(人の背と同程の高さ)と腰付のラッセル、不安定な雪庇に悩まされ、非常に労力と時間を要した。(北アα稜線をアタックをきかせて歩くのは、全く異なる世界である) ルーツネまでが予定であったが、時間が足りなそうと思ひ、P1600で泊った。ヤオロマツノ - 1600P間は、1600PからT.Sかな。P.1600は、4人程乗りにまよる。夜半、低気圧が通過、冬型となる。

(感想) とて疲れた。日高の山の厳しさの一面を知った日であった。つまり、日高は、体力的な山であったのだ。小手先の技術は通用しない。

3月7日 (☉地吹雪) T.S(6:15) - ルーツネ(10:30)

冬型の吹雪の中ルーツネ。ルーツネは、尾根も細くなり、悪天時には、北アα稜線に近づき、ヤオロマツノのラッセルは、かなり重く、かなり疲れた。ルーツネまでは、かなり疲れた。ルーツネまでは、かなり疲れた。

(図1参照)

(感想) シ 山行中の山頂にヤスギにはまった。明日は、アタリに行けるかな。フフ。アタリはヤスギ食で、いそが様に阿保語して、旧が終る。来気図では、冬型が写る。東シナ海から、華南に、停滞前線が来た。オチャカな天気と期待(フフ)。この不気味な前線の気になる。

3月8日 (◎-①-◎) ルアツネ(6:15)-アタリ(8:45)-アタリ西尾根R.1293(14:00)

ルアツネ-アタリ間は Bush 殆んどなく、比較的楽だが、アタリ手前 P1650の手前の稜線は、岩稜帯があり、少し難しい。アタリ頂上は、なだらかな丘という感じであった。四方の眺めがよい。アタリから、西尾根に下る大斜面は、雪崩に注意すべきと思った。西尾根は、広い尾根で、ここまた、ヒザ〜膝のラッセルでシゴかれた。(スキーは有るか)

対馬海峡に低気圧が動き、急激に発達、北東に進み、明日の午後から、大荒れという予報。(感想) 遂に来た。頂上で、フジと握手した。写真を撮り、地図を広げ、知了を少し食べた。いそと、夜明け風景だが、今回はかりは、万感胸にせまるものがあった。3年の夏、奥古舟(4年春)コイカより、いそがアタリを目標にたか、いそが敗退した。以来、あつと気になっていた山であり、いそが山岳会に入ろうと考えたのも、この山が候補にしている。大学6年間の最後の山行として、最もふさわしい山行であった。

いそがにしては、四方山また山のまじい所めに圧倒される。やはり、日高も良い山だ。いそがもいそがだし、向うなし。いそが、いそがを考へながら西尾根をラッセルしていた。

3月9日 (◎) T.S (7:15)-アタリ山頂(11:00)

低気圧接近により、気温が上昇し、雪崩が懸念されたが、無事、アタリ山頂に着いた。尾根は、相変わらず、重い深雪のラッセルで苦しかったが、西尾根は、いたる所にT.Sがあり、時に危険な所もなく、スキーが楽かと思つた。

3月10日 (◎-①) 山頂(7:00)-アタリシノブ川谷合の少し先の北電東の沢尻電所工事現場(8:00) 上ツク 苦小枝

アタリ、林道歩きで覚悟していたが、2ピッチ歩いて、北電の工事現場(アタリに少し上り、都山よう一)にぶつかり、たまたま、苦小枝の方へ行くトラックに捲つてしまった。アツい(アツい)と同時に、二人が深、アタリまで人の手が届いてる事に驚いた。林道は、あるけど、2日はかかるだろう。

(感想) とかく、山行が終った。ホツとした。食糧準備も適当であった。行動計画も無理はなかったと思う。いそがにしては楽しい山行だった。

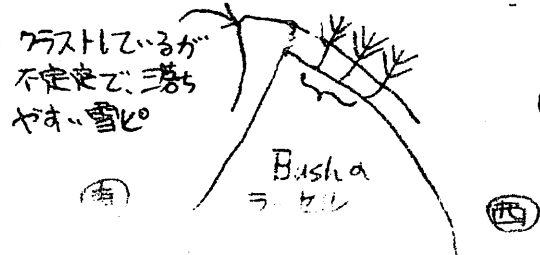


図-1.

3/8 ~ 12

△. コガ. マルヤ

3/8 ◎ ~ ●時々●

7:10 一の瀬 登

1P 7:45 桂小場 登山道 入口

{ 2P目に水場あり.
5P目が5ワカン使用.

6P 12:00 大樽小屋着

悪天のため小屋泊に決定.

3/9 ●時々● ~ 午後になると◎

悪天のため沈殿.

3/10 ○ 稜線上 強風

6:20 小屋登

2P 8:25 将權の頭

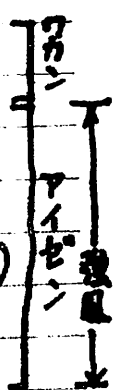
4P 10:20 木曾駒ヶ岳

{ 1:40 宝剣ヒコノ通過.
宝剣にて 4Pに 40m x 4P (登り x 2P, 下り x 2P)

5P 2:30 宝剣の向こう 三沢岳の尾根の分岐

6P 4:10 松尾避難小屋着

(小屋の入口が壊れていたので、小屋の中ヒコノ設置)



3/11 ガス, 強風, 及び 丸山からの雪目により沈殿.

3/12 ◎ ~ 最後になると◎

7:30 小屋登

1P 8:40 熊沢岳

2P 9:50 木曾殿山荘

3P 11:50 空木岳 (登りが少々シビア!)

7P 3:45 鷲ヶ岳山への分岐

8P 林道

丸山尾根のイースター?

{ 6P目 かなり急な
夏道石のトラバースが非常に
シビア!!

8P 丸山尾根の一本道

尾三類

スキー場

尾三類

4/14~17

4/14 伊那
松本

新宿 沼田 → 尾三類 戸倉スキー場
(下宿あり)

戸倉のバス停 付近の初スキー場の便所に泊った。水道・電気が
使える。清潔なところでした。

4/15 4=45 起床

6=30 出発

9=15 一本

12=30 アヤノ平

4=00 S.H.

くもり & ガス

高くもり

雨

4/16 5=15 起床

7=30 出発

9=10 小テニマ沢 出合

10=30 竜宮小屋

11=00

くもり

長蔵冬期小屋は水
電気を無料で使えた。
快適!

はれ

12=30 グンゴヤ沢

1=00 (尾三類沼田横断できた)

2=10 長蔵小屋 休け所

3=40 長蔵冬期小屋

お-と晴れ

4/17 8=15 出発

8=30 三平峠

9=10 林道

11=05 大清水

1=20 戸倉

どろはれ

林道は大清水の手前まで
お-で降りられる。

- ・ 僕のスキーがからさへ入ったので大変時間がかかりました。二日目以外は天気も良かったので、長持の良山行 (三野)

屏風岩 東後

member L3292 0170

4/27 ① → ② 本館 4往 Bike 2" 下山
 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

4/28

- 6:45 B.P 出発
- 7:55 T4 屋根 郵便 5往 10-12 4往 1P 900
- 9:00 T2 瓦葺 郵便 10-12 往
- 10:10 郵便
- 3:30 終了

- 15m 1P 橋 Top 水戸の 5.0m 往 10-12
- 35m 2P 橋 郵便 5往 10-12 4往 1P 900
- 10m 3P 橋 郵便 10-12 往
- 20m 4P 橋 郵便 10-12 往
- 40m 5P 橋 郵便 10-12 往
- 20m 6P 橋 郵便 10-12 往
- 30m 7P 橋 郵便 10-12 往

- 5:45 橋 郵便
- 6:30 橋 郵便
- 8:00 橋 郵便

4/29

- 7:20 B.P 出発
- 8:05 郵便 10-12 往
- 10:00 B.P (郵便) 7往 10-12 下山 by KADOKA

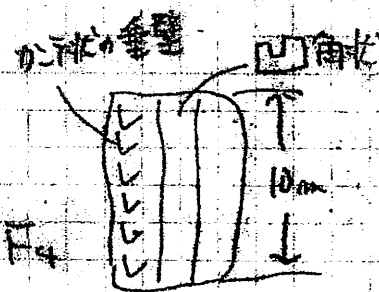
高々 777シ 11にセ"

member
24/24

がや 木 工 カ バ タ

階層はプロ-4に 敷置には 1.5mの 2階-4の 高さの 柱に 1.5mに 行くと

天板の 車も 倉庫へ 周通が 2階 柱



F1 ~ F4 柱 4本 2階 柱に 巻く

F3, F3', F4 は 2階 柱に 巻く
1.5m 柱に 巻く 2階 柱

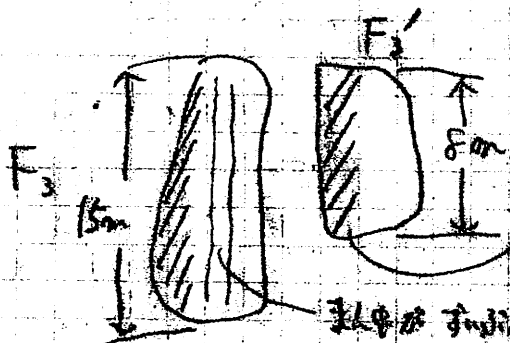
時期が 2階 柱の 2階 柱の

2階 柱の 2階 柱の 2階 柱

野徑の 2階 柱の 2階 柱の

柱 F4に 2階 柱の 2階 柱

右側が 2階 柱の 2階 柱の
2階 柱



2階 柱の 2階 柱の 2階 柱

2階 柱の 2階 柱の 2階 柱



2階 柱の 2階 柱の 2階 柱

2階 柱の 2階 柱の 2階 柱

Top 2階 柱の 2階 柱の

柱に 2階 柱の 2階 柱



2階 柱の 2階 柱の 2階 柱

2階 柱の 2階 柱の 2階 柱

城ヶ崎

7=15

林道終点

8=00

3ポイント (立札付近)

8=45

2P

9=00

1915m

9=20

城ヶ崎 頂上

2=35

城ヶ崎 頂上

2=35

5=05

林道

初めての1ピッチは、やぶでした。2ピッチめか残雪が残っていたけれども、キックステップだけで充分。ピッケルも必要ないほど。

- ・ 天気が非常に良かったので、頂上で4時間ぐらい昼寝をいたしました。のんびりした山行もたまにはいいものです。

つづれた山行一覽表

1. 奥三ノ沢
2. 荒沢尾根
3. 源次郎尾根
4. 小窓尾根
5. 白馬スキー
6. 城ヶ崎

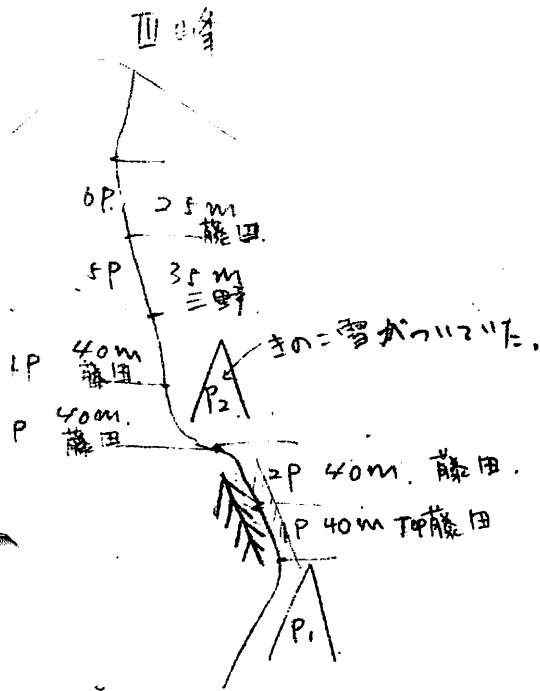
ゴールデンウィーク山行

4/30 藤田, 古賀, 三野, 川端入山

B.C は, 湯沢と不帰沢の合
(いつかと同じと3).

5/1 } 水谷, 角谷, 森入山
登攀 (毎日どろはみ).

5/5 登攀終了後, 全員下山



5/1 三野 C
 3=30 起蒸
 5=10 出発 快晴
 8=40
 10=40 取り付き
 1=05 6P

2Pの最後が難しい。
 3P.4P.トバース臭味にき。
 かなりはかた。
 6P.傾斜が急。
 Cにせ下降

5/1 B11-タイ. △古賀. 川端.

↓ O 5:10 B.C 発
 4P 9:30 五峰 B11と B12 合
 b11と b12

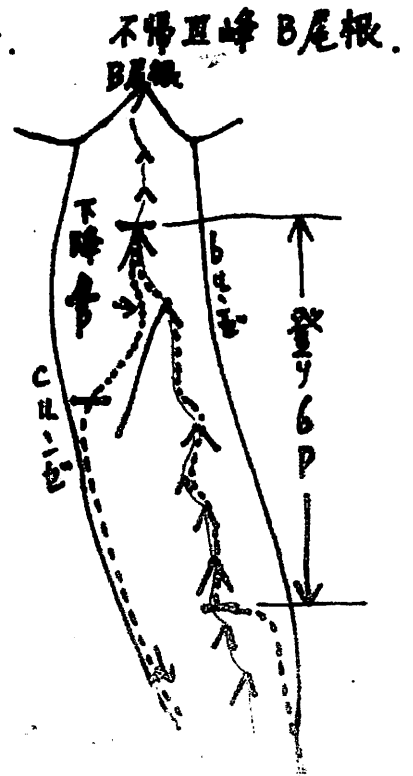
取り付き。
 登り 6P (30.35.35.40.30.20)
 急な下降 4P (20.10.20.20)
 *麓か窓のあたりで断念!
 終了。

Cにせ下降。

五峰 B11と B12 合

A11-タイと合流。

B.C 着。



5/2

Aルート 杓子B尾根 L7ジダ カドカ

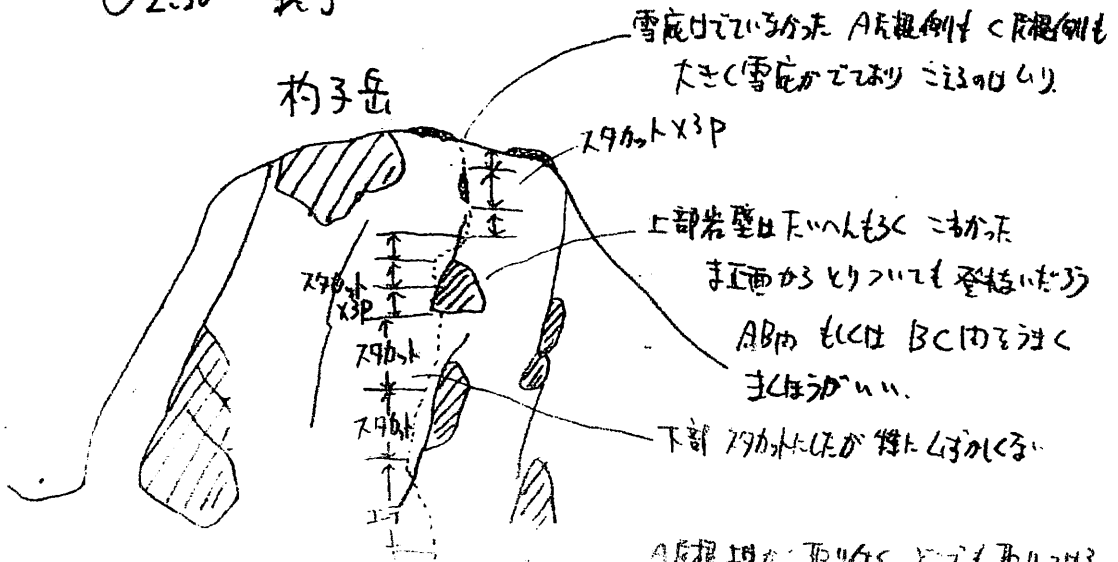
04:20 B.C 出
05:25 大左内滝
07:00 三ルート 始末
07:55 セルバン 始末

コンラ X 2P のあと 雪後 スタカ、X 2 で
上部岩壁の基部へ
AB内ルセは 築石。なたれがひどいところ
BC内のもうへ 折れ目が見えが。こぼれやすく
岩壁を 左のスカイラインをた 登る = 出来

010:00 上部岩壁の基部

1Pで岩壁を 2Pで2P2Pで岩壁上部の
雪後へ 岩壁 = 2Pで2人ほど 小エ雪のブロック
を登る。この時、コンラで行くと岩が
雪の状態が悪く スタカ、X 3Pで 経路へ。
最後の雪庇 (垂壁) が 2P2P A尾根、双尾根
ルートに 折れ目 あり (2P2P) ラニングが 多く 折れ目
リードするは 3Pと シビアです。あと雪の状態が
悪すぎた

02:30 終了



A尾根 折れ目: 折れ目、とて 折れ目
by 1P2P

5/2

C.P.

杓子A.

↓

4:20

B.C. 登

↓

IP

5:30

大左門、滝

↓

3P

杓子沢

A尾根取り付き。

開始

ナイル 2P (40, 35)

7L12 19A2

+コンテ.

と

最初岩〜雪線

○

終了 10:50 (杓子ヒコ)

← B.A. 尾根

↓

2:30

杓子ヒコ登. を降,

↓

5:05

B.C. 着.

* 岩峰を登く時 ナイルを出したが、今は雪崩れをうけた。



5/2

D尾根 (杓子東壁)

△ 古賀, 森, 三野.

C.D 直ル池から. 取りアこうとしたが, 落石が多く.

危険すぎるので: Escape し. 二子尾根を登る.

杓子岳頂上に 12:00.

5/3

C 110-74 不帰2峰 北方心池 ~ 又北心池 ~ 正面壁心池
L 大カ ミ

- 5:00 B.C 出
- 6:15 不帰2峰 出合
- 7:30 1,2峰内心池 ミ100-74 始発

計画では南方心池が予定だが、南方心池らしき所は無いので
心池が予定の上の北方心池に行くことになった。

- 9:00 センターリッジの尾根の末端の岩塊を乗り越え北方心池
下には広く内登りし センターリッジ 山頂に登り
又北心池の入り口が予想より狭いがガレを歩けるので
又北心池に入り急な登りとなり 下りが楽な感じだったので
南方心池との交差はは、よりしている よくわかるが
正面壁心池は どの道も登れずが 稜線にたどり着いた
着て登ると痛い目に合った

- 10:30 センターリッジ 下り出す
右側の尾根にトラバースする 10 分ほど 100-74 に出る
そこで 本谷 110-74 と合流し 雪後 2P 稜線へ
と登る

○ 12:00 終了



A 11-7-1

不帰I峰(山) → 不帰の頭 → 鍾流

1P 5:00 B.C. 登.

2P 7:35 I-II峰間ルンセに出合.

3P 8:20 取付台.

支尾根の味場(尾峰)より傾は P1, P2, ... 対する.

P3. ルンセ. 雪積. ルンセ (中々ル 1P 30m) 尾峰の右に登く. ②

P4. 雪積. 岩

P5. 雪積. 岩 (中々ル 1P 15m ②)

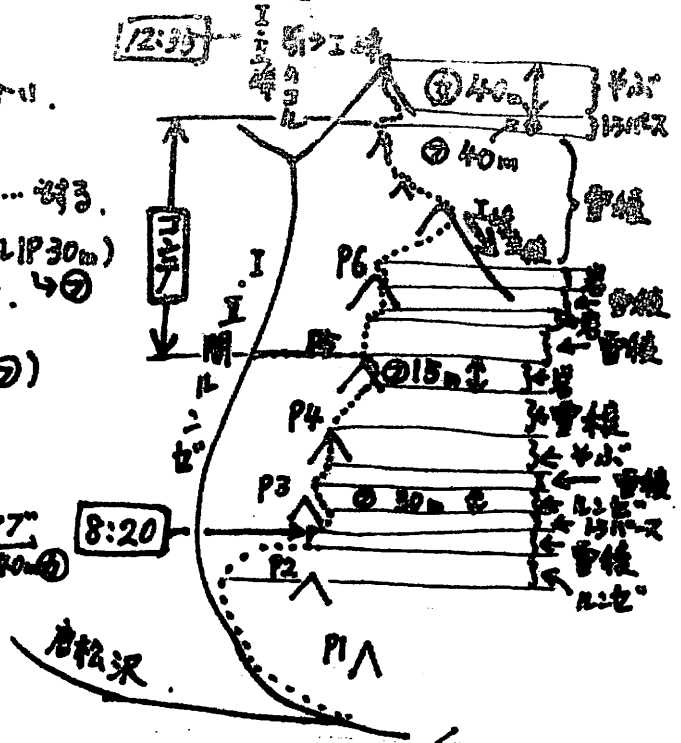
P6. 雪積. 岩. 雪積. 岩

主峰の合流点. 雪積

I峰トーク 雪積. トラバース. ヤブ 40m ② 40m ②

中々ル 2P (40m. 40m)

終り I峰トーク 12:35



1:15 I峰トーク 登

1:35 不帰のキレット

鍾流のルンセ

B.P. 着. (鍾流出合いの下. 大左門の港の上の台地) *

5/3 B party 甲南ルンセ ~ Z山峰

L. 古墳, 森, 水谷

甲南ルンセ出合 730

甲南のルンセ 915 } スタカット

Z山峰 1200 } 4pitch

不帰キレット 13:30

(水谷の 5日入山 甲南山)

乙山 角形山 甲南山

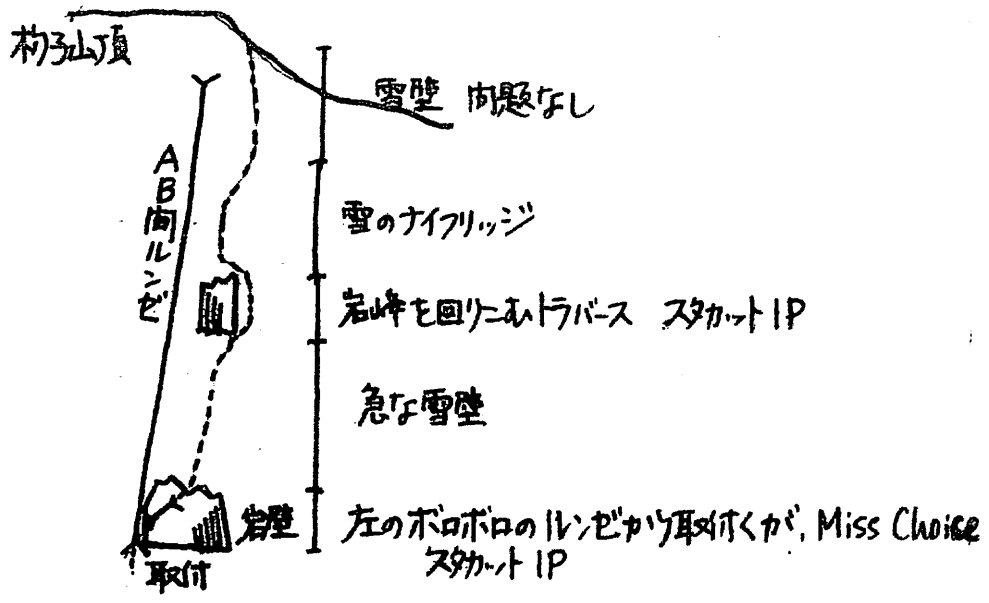
5/3

* ルンセ内は. 雪がたかく. また. 落石が多い. アベツツ. スピーチーに行動した方がよい.

* 乙山からは. 数ヶ所. クルシカあり 繫る長土は多い.

5/4 L角 森 山頂 (11P.)

05:05 E.S. - 7:35 取付 - 10:35 杓子山頂 - 12:00 釜淵山頂
12:45 釜淵温泉 - 16:00 B.C.



5/4 B.A. - タイ L. 藤田, 古賀, 三野, 川端.

- ↓ 0 7:15 B.P 完 (荷物をテホ) (*)
- 1P { 7:50 小日向山着
- ↓ 8:35 " 完
- 2P 9:00 釜淵出合 (**) (*)
- 3P 9:50 釜淵温泉着
- ↓ 1 釜淵温泉に2 曹くん
- ↓ 2 A.A. - タイと合流
- ↓ 3 三野, 川端が温泉に入る.
- ↓ 4 1:45 温泉完
- ↓ 5 2:15 E. (左外で...)



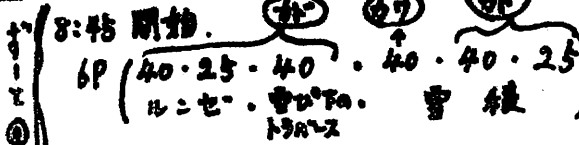
- 3=00. 起床
- 4=35. 出発
- 5=50. 滝の少し先
- 6=50. 出合い
- 7=10. 取り付き
- 8=00. シャンクシオンセーク. 雪がどどく
- 9=45. I峰頂上
- 10=35. II峰間にせ. 雪が多くなる
- 2=25. T.J. 2の収. 出発
- 3=10. 三保

いよいよ、シャンクシオンセークに出て、トレス
 3位に雪りょうを登った。
 最後のヤブに、1ピッチ、サシ
 使用。岩がもろくていい。

5/5 B.A.-ティー 角谷・川端

不帰五峰登山 → C尾根 → 登山

- ↓ 4:35 B.C. 登
- 2P 7:00 I-II峰間ルンセ 出合い
- 3P 8:35 取り付き



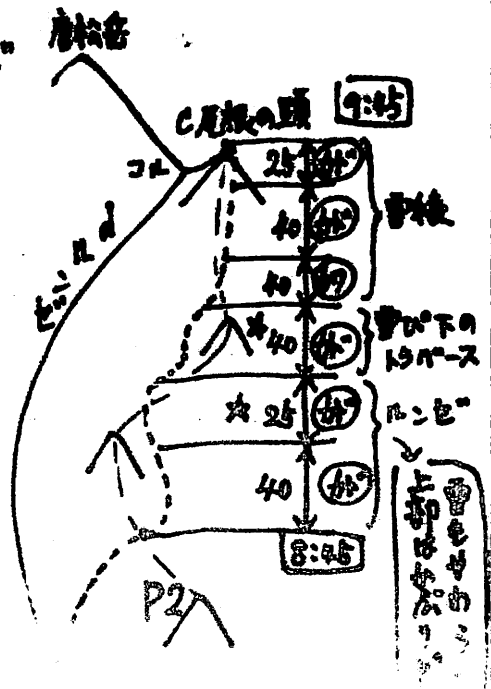
9:45 終了 (C尾根の頭)

2P 一時困難を、A.A.-ティート合流

10:45 登山のゴール

川端、古賀の唐輪

10/10/10



5/5 不帰線

↳ 藤田, 古賀

B.C 4:30

唐松沢出合 5:50

不帰線ト 9:00

Δルンセ"の上 10:30

(30分C尾根の頭
~唐松向の川)

Δルンセ"下降

11:05 C partyと合流
(1,2向ルンセ"出合)

13:00 B.C.

↓
下山.

B party と 合流.

古賀, 川端は唐松ポスト

60' ゴールデンウーケ山行 会計報告 by 川端.

工 29.118円 (746円/人・日)

表 3.230円 (461円/人)

交 18.850円 (2.693円/人)

(電 14.000円 + 夕 4850円) (電 2.000円 + 夕 693円)

計 51.198円

山岳 春山 G.W. 山行報告書 55表紙



印刷
西算輪支所 印刷機使用
1985 5X16(木)
信州大学 山岳会

Kushiba